心校長通信

No.40 (6月号その1) 蓼科高校 校長 宮澤 和人 2021.6/3



2 1年の時空を超えて ~5月30日 タイムカプセルオープン!~



本校の中庭には、20年前の創立100 周年時に当時の生徒会が埋めたタイム カプセルがあるらしい。昨年、そんな 話を聞いたことがありました。

『そんな都市伝説のような話、本当だろうか?』 最初はそのように思っていましたが、関係者からの複数の証言と、当時の生徒会誌にその記事と写真という動かぬ証拠が。そこには、

『20 年後にはタイムカプセルが待っているのできちんと来てくださいね。』とまで書いてあったのです(裏面参照)。 120 周年行事が今年度に延期になっ

た今、その一環として当時の生徒会と旧職員と一緒にタイムカプセルを掘り出して交流しよう、という 機運が現生徒会より生まれてきました。そこで生徒会顧問を中心とする先生がたが、当時の生徒会と旧 職員の皆さんにコンタクトをとり準備をして下さり、5月30日(日)に実現の運びになったのです。

当日は、当時の正副生徒会長と卒業生の皆さん、そして旧職員の皆様が約20名、現正副生徒会長と執行部役員、そして現教職員の総勢30数名が集まりました。そして、卒業生によるパワーショベルまで登場し、感染症対策のもと作業が行なわれました。その結果一部水に浸かりながらも、当時のままの全校生徒と教職員による自分に宛てた手紙と、写真や寄せ書き類、VHSやFDなどが出てきました。

卒業生からは「感動しました。」「ご縁を感じました。」などの言葉が寄せられ、再会を喜び合っている姿には心を動かされ、本当にやってよかったと実感したこの企画でした。それにつけても、立岩生徒会長をはじめとする現生徒会役員の立派な対応に感動しましたし、彼らを支えてくださった生徒会顧問の先生と事務室の皆さまのご指導に、あらためて感謝いたします。 (裏面に続く)



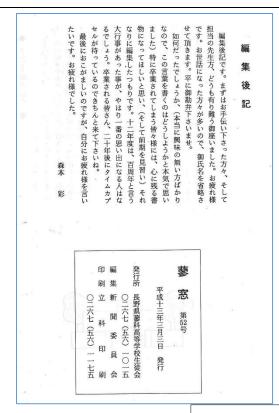














「蓼窓」52号に動かぬ証拠が!

地元企業説明会スタート! ~地元企業で働く大人と、心の交流~

地域で学び、地域に根差し、地域を支える人材を送り出すために 本校ができること。それは、従来の地域連携授業に加え、生徒に多 くの地元企業を紹介し進路意識を醸成することだと思います。生徒 に多くの業種を知ってもらい、地域で誇りを持って働く大人と直に 交流し心を育てる取り組みを、本校では昨年度より進路指導係の主 導で行っています。





さて、今年度はこの取り組みをさらに進化させ、毎週金曜日の放 課後に1社ごとお招きし、お話を聞くことにしました。5月28日 (金)、初回は(株)小宮山土木様が来てくださいました。参加生徒は 予想を上回る 27 名の大盛況。皆それぞれ真剣に説明に聴き入ってい ました。説明会後、高所作業用の安全ベルト試着会は生徒大喜び!

(県道 12 号線<丸子信州新線>というワンダーランド) 困ったお話(その37)

週末私は、単身赴任の住宅がある立科町から自宅のある小川村へ帰る。帰るには2時間かけて国道18号線 (千曲川沿い)を通り上田市→坂城町→長野市へ向かうのが普通だ。しかし困ったことに、私は県道 12 号線に はまっている。この道は、立科町から上田市(丸子)→青木村→筑北・麻績村→長野市(大岡→信州新町)、そし て小川村まで、自然豊かな山々を縫ってつながっている道路なのだ。この間の道のりは約70km。時間は2時 間半もかかるが、魅力的で見どころ満載の道なのだ。今回は、そのワンダースポットを紹介しよう。





標語に反し わき見多発



異界に迷い込んだ? 修那羅峠石仏群



ワラのモアイ発見!芦ノ尻道祖神



圧倒的な北アルプスの景観